# 行政評価(施策評価シート)

### 1 基本項目

基本目標3 ふれあいと活力のあふれるまち

基本施策2 地域とともに歩む魅力ある産業の育成

施策18 工業

### 基本方針

社会経済状況の変化に適応した企業経営の安定と強化、新たな創業を促進するための支援を行い、地域とともに発展する活力ある工業の振興を図ります。

## 2 指標(長期総合計画目標指標)

	K K K K K K K K K K K K K K K K K K K								
指標名		現状		H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標値 (平成28年度)
指標1	誘致した企業の累計件数(平成16 年度以降)	5 件	(平成22 年度ま で)	8 件	8 件	9 件	10 件	11 件	9 件

3 施策を構成する平成28年度事務事業の実施・評価結果

	XC 11770 7 0 1 792-0 1 22 7 132 7 1			結果		評価(所	管課長)		指標に係る
No	事業名	決算/円	予算執行 率	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	方向性	重点事務事 業
1	産業振興計画の推進	-	-	計画どおり 完了	0	0	0	Α	
2	羽村地域産業振興懇談会の開催	-	-	計画どおり 完了	0	0	0	A	
3	創業支援事業の実施	19,037,146	99.7%	計画どおり 完了	0	0	0	A	
4	経営向上のための助成制度の充実	3,541,000	66.5%	計画どおり 完了	0	0	0	A	
5	企業誘致の促進	781,353	94.9%	計画どおり 完了	0	0	0	A	*
6	製造業の操業環境支援事業の実 施	550,000	12.8%	計画どおり 完了	0	0	0	A	
7	企業活動支援員による個別訪問事 業の実施	16,646,239	100.0%	計画どおり 完了	0	0	0	A	
8	<mark>中小企業振興資金融資制度等の</mark> 充実	13,654,305	91.0%	計画どおり 完了	0	0	0	Α	
9	雇用の促進	1,672,189	97.4%	計画どおり 完了	0	0	0	Α	

## 4 施策評価

①施策の評価

市内における工業の活性化を図るため、企業活動支援員による経営相談、ビジネスマッチング、経営診断等の企業経営支援を実施した。

また、国の地方創生交付金を活用し、企業への融資制度、助成制度、専門家派遣制度等の支援事業を行い、企業経営の安定化および向上を促進することができた。

企業誘致については、平成27年度に改正した企業誘致促進制度の要件拡大により平成28年度1件、累計で11件を誘致することができた。

創業支援については、創業支援事業計画を策定し、5月に国の認定を受けた。創業支援コーディネーターによる個別支援や 創業支援セミナー等、また創業支援補助金を創設し、創業を支援することができた。

雇用の創出については、ハローワーク等関係機関と連携し、就職支援セミナーや面接会を開催する等の雇用対策を実施し、雇用の促進を図ることができた。

## ②今後の方向性(改善への取組み等)

工業の活性化策については、今後も事業を継続し、企業への個別訪問事業を通じて、支援制度などを周知し、企業の経営安定と基盤の強化を図っていく。

市内の中小企業に対する融資制度について、中小企業環境配慮事業資金融資制度を中小企業振興資金融資制度に統合するとともに、資格要件の緩和や助成額の増額などにより、手続きの簡素化と制度内容の充実を図る。

	28年度		基本シート】									
1.基	本項目		古光力			部署			環境部	/ <del>(2)</del> 3		産業振興課
			事業名			<b>年度</b>	実施	期間	事業種別		営手法	進行管理
1 産	業振興	計画の	推進		平成	28 年	継続		自治事務(市 独自)	直営		
01						年						
02	!					年						
03						年						
04						年				<b> </b>		
05						年				<b>†</b>		
関:	 連課					<u> </u>	<u>l</u>			<u> </u>		
基本	目標	3 ふ	れあいと活力の	)あふれるま	き 施策	区分	18		工業	事第	<b>養子</b>	1
	業の概											
事 産			」を点検・評価								に、常り	こニーズに
業内容	ルた討	一画の	継続的な見ī	直しに劣δ	り、産業扱	1199	囲の着	美な打	重進を図りま	9 。		
根拠	法令											
条例要綱	<u>—</u>											
3.成	<del>亏</del> 果指標	<u> </u>										
			歩む魅力あ	る産業の	育成							
成 果 目												
標												
	動指標								3か年計画			
Pla	an【計	画】	平成27年原	度(現況)	平成	28年月	<b>₽</b>		<u> </u>		平成	
			計画の策定		計画の推進		~	同左	·//	同:		1 🗻
			庁内検討委員会	会 5回	<b>庁内推進委</b>		称)設		進委員会(仮称)	の 同:	左	
					置及び運営			運営				
	<b>事業内</b>											
특	<b>事業量</b>	等										
5.投. ①人·			との達成、及で 多執行に要す									
					- (現況)		或28年		 平成29年	E度	平原	<b>龙30年度</b>
1 <del>7</del> =		層∙職	性力! 		類時間	人数	概算			時間	人数	概算時間
係長主事	職 ∙主任〕	融		1人	988 H 0 H	1人		93 H 93 H	1人	93 H 93 H		93 H 93 H
	事業費			<u>  ∪                                   </u>	υН	1人		<i>3</i> 3 □	1 人	ჟა H	<u> </u>	<u>ე ყა H</u>
事業	費の内		単位:千円)	平成27年		平月	<b></b>		平成29年			戊30年度
	業費	仮■□	<u> </u>		581 4,979			0 462		462		0
☆	.件費(· .件費(		<sub>或)</sub> 主事職)		4,979			463 317		463 317		463 317
総事	業費(a		<u> </u>		5,560			780		780		780
	庫支出				0			0		0		0
	支出金		5		0			0		0		0
	の他特		•		0			0		0		0
	·般会i				0			0		0		0
起	債	- / 1	<i>u</i>		0			0		0		0
計源	·般財》 内訳(a		件費含む)		5,560 <b>5,560</b>			780 <b>780</b>		780 <b>780</b>		780 <b>780</b>
	<u>内訳(で</u> スト計算				5,560			700		700	'	760
ア市		<u> </u>	56,281 人	における	1人あたり	りのコス	ストは、			14 円		
	象者			における		りのコス	ストは、					
<b>⊢</b>	- FE +/			出来高				-	のコスト	は		円
	果物象者:											

Do(実行) (進行管理) 6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、 レ)計画どおり完了 (力計画を見直し完了(ジ ①活動実績(Plan【計画】及び事中評価におけ ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合	欠年度以降計画を! ける改善について本	見直す) 「年度どのよ <sup>・</sup>		□中断 施したか)
平成27年度に策定した羽村市産業振興計画いては、羽村市産業振興計画推進委員会や評価等を行った。 羽村市産業振興計画推進委員会(年2回)実施羽村地域産業振興懇談会(年2回)実施。	に沿って事業の実 羽村地域産業振興	施と進行管理	里を行った。同	
②投入実績				
決算の内訳(単位:円) 予算額(当初)		予算額(最終		
事業費 0 7.成果結果	0		0	0 –
①活動、投入実績から生じた成果(物)				
前年度(今までの状況)			態になったな	
産業振興計画案をもとに、工業・商業・農	計画に定める事業			
業・観光の各産業分野を一元化した産業振 興計画を策定した。	村地域産業振興系 推進する体制を整 ける進捗は、概ね	備することか	「できた。平成	
②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値	を数値化している	場合		
対象者(物)	本年度:目標(		本年	度:実績値
		⇒		
Check【評価】 8.評価 ①事業評価(改善等、課題を発見する視点)	<ul><li>◎・・・適切であるが</li><li>○・・・適切なもの</li><li>△・・・課題があり、</li></ul>			
項目 評価のポイント			着眼点	課長評価
妥 û ·上位施策(基本目標·施策)を達成する 当 要 ·今の社会情勢に見合う事業内容となる 性 ·利用者·対象者のニーズ(需要)はある	っているか るか		性はあるか	0
効 ( ・活動手法を見直し、人件費・事業費の) 率 法 性 )		成果を落とる 経費・労力で 行されている	で事務が執	0
有 ( ・事業の目標が達成されているか 効 <sub>果</sub> 性 ( )		成果又は効 いるか	果が表れて	0
②事業評価(今後の方向性についての視点)				
【今後の方向性】 高〔妥≦ ↑	当性•有効性〕			今後の
		とが適当	高 〔効率性〕	方向性 <b>A</b>
低				
Action[改善]				

Action (改善) 評価から導かれる今後の課題と方向性

# 評価(所管課長)

平成28年度においては、計画に沿って事業の実施や進行管理を行う事ができた。引き続き、計画の数 値化や、商業や農業等における連携の必要性について、羽村市産業振興振興計画推進委員会、羽村 地域産業振興懇談会から意見を聴取し、計画の推進を図っていく。

	基本シート】									
1.基本項目	<b>主业</b> 5			部署	<del></del>	産業	環境部	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		主業振興課
	事業名		開始	年度	実施	期間	事業種別	運営	上法	進行管理
2 羽村地域産業振	興懇談会の開催	<u></u>	平成	25 年	継続		自治事務(市 独自)	直営		
01				年						
02				年						
03				年						
04				年						
05				年						
関連課										
基本目標 3 ふ	れあいと活力の	あふれるま	ち 施策	区分	18		工業	事業都	番号	8
2.事業の概要			•							
事 企業活動支援									の中小	ヽ・小規模
業企業の経営力	を強化するだ	こめ、懇談	会を開催	崖し、地	域経済	斉の活	性化を推進	します。		
招 加 法 会 【										
根拠法令 条例										
要綱等										
3.成果指標										
│ <sup>成</sup> │地域産業支援 │果│	機関との連	携促進、	および牡	也域経	斉の活	性化。				
目										
標    4.活動指標										
		-					3か年計画			
Plan【計画】	平成27年度	ξ(現況)	平成	28年月	臣		成29年度		平成3	0年度
	懇談会の開催 年2回		同左 年2回			同左 年2回		同左 年2回		
	十七四									
		ľ	産業振興計	画の進行	で管理	同左		同左		
   事業内容										
事業量等										
L	 の達成 及1	<u> </u>	51-101:1	<u> </u>	る る 済	<b>(</b>	<b>エノ・カネ</b> 】)			
	S執行に要す									
職層∙職種		平成27年	度(現況)	平月	或28年	度	平成29年			30年度
	1主力1		算時間	人数	概算		人数 概算		人数	概算時間
係長職 主事・主任職		1人	45 H 15 H	1人		45 H 15 H	1人	45 H 15 H	1 人 1 人	45 H 15 H
②総事業費		1	13 11	一八		10 11	1 7/	10 11	1 八	13 11
事業費の内訳(	単位:千円)	平成27年	度(現況)	平月	<b>戊28年</b>	度	平成29年	- 度	平成	30年度
事業費	<del>5</del> 1.\		0			0		0		0
人件費(係長聯 人件費(主任・			227			224		224		224 51
			5/1					חות		JI
総事業費(合計)	工事報/		54 <b>281</b>			51 <b>275</b>		51 <b>275</b>		275
総事業費(合計) 国庫支出金	工争戦/		281 0			<b>275</b>		275 0		<b>275</b> 0
国庫支出金 都支出金			<b>281</b> 0 0			<b>275</b> 0 0		<b>275</b> 0 0		0
国庫支出金 都支出金 受益者負担額	Į		281 0 0 0			275 0 0 0		275 0 0 0		0 0 0
国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財	[ ·源		281 0 0 0			275 0 0 0		275 0 0 0 0		0 0 0
国庫支出金 都支出金 受益者負担額	[ ·源		281 0 0 0			275 0 0 0		275 0 0 0		0 0 0
国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作	[ 源 金		281 0 0 0 0 0 0 0 281			275 0 0 0 0 0 0 275		275 0 0 0 0 0 0 0 275		0 0 0 0 0 0 275
国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作 財源内訳(合計)	[ 源 金		281 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0		275 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0
国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作 財源内訳(合計) ③コスト計算	i 源 .金 牛費含む)	<b>レーギル・ス・1</b>	281 0 0 0 0 0 0 281 281		7 1-1+	275 0 0 0 0 0 0 275		275 0 0 0 0 0 0 275 275		0 0 0 0 0 0 275
国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作 財源内訳(合計) ③コスト計算 ア 市民	i :源 :金 牛費含む) 56,281 人		281 0 0 0 0 0 281 281			275 0 0 0 0 0 0 275		275 0 0 0 0 0 0 275 275		0 0 0 0 0 0 275
国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作 財源内訳(合計) ③コスト計算	i :源 :金 牛費含む) 56,281 人 人	における1 における1 出来高	281 0 0 0 0 0 281 281			275 0 0 0 0 0 0 275	のコスト	275 0 0 0 0 0 0 275 275		0 0 0 0 0 0 275

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。 平成27年度に策定した羽村市産業振興計画に沿って事業の実施と進行管理を行った。実施結果 いては、羽村地域産業振興懇談会へ報告し、進捗状況等の点検・評価等を行った。	果につ								
いては、羽村地域産業振興懇談会へ報告し、進捗状況等の点検・評価等を行った。 羽村地域産業振興懇談会(年2回)実施。									
②投入実績									
決算の内訳(単位:円) 予算額(当初) 補正・流用額 予算額(最終) 決算額	執行率								
	_								
7.成果結果									
①活動、投入実績から生じた成果(物) 前年度(今までの状況) 今年度(どういう状態になったか)									
地域の中小企業を支援するための産業支計画に定める事業の進捗を管理し、羽村地域産業	<b>振興</b> 懇								
選機関(市・商工会・金融機関・各専門家団 本等)で組織する羽村地域産業振興懇談会 を2回開催した。 各団体が行う創業支援策を創業支援事業 計画としてまとめ、各団体の役割を共有するとともに、創業支援事業計画については国 の認定申請を行った。									
②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化している場合									
対象者(物) 本年度:目標値 本年度:実終	責値								
$\Rightarrow$									
Check【評価】◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善する8.評価○・・・適切なもの①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの項目項目の着眼点	もの								
妥合 ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か 施策体系に結びつくか、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	_								
サ **   ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか   事業の必要性はあるか	$\supset$								
効 ( *活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか 成果を落とさず、最少の 率 法 性 ( 行されているか	$\subset$								
有 ( ) 事業の目標が達成されているか 効 果 性 ( ) にるか	$\supset$								
②事業評価(今後の方向性についての視点)	***								
	後の <u>向性</u>								
B:事業の進め方の A:計画どおりに事業を進めること、又は、 低 改善の検討 より効果的に改善して進めることが適当 高 ← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討 ○ 一〔効率性〕 D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討	4								
<u>低</u>									

# Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)

平成28年度においては、計画に沿って事業の実施や進行管理を行う事ができた。引き続き、計画の数値化や、商業や農業等における連携の必要性について、羽村地域産業振興懇談会から意見を聴取し、計画の推進を図っていく。

【基本シート】 平成28年度 1.基本項目 作成部署 産業環境 部 産業振興課 事業名 開始年度 実施期間 | 事業種別 運営手法 進行管理 自治事務(市 3 創業支援事業の実施 平成 26 年 期間設定5年 その他  $\bigcirc$ 独自) 年 01 年 02 03 年 年 04 05 年 関連課 基本目標 3 ふれあいと活力のあふれるまち 施策区分 工業 事業番号 18 9 2.事業の概要 事|地域金融機関・産業支援機関・商工会等と連携して、創業支援のワンストップ窓口の設置や創業セミ 業ナーを開催します。また、創業希望者による空き店舗活用などを促進するための補助金を支給しま ッ 容 す。 根拠法令 条例 要綱等 |羽村市創業支援補助金交付要綱 3.成果指標 成市内での創業を支援 目 標 4.活動指標 3か年計画 Plan【計画】 平成27年度(現況) 平成30年度 平成28年度 平成29年度 創業支援コーディネータの 同左 同左 設置 1人 産業福祉センター創業支援 産業福祉センター創業支援 同左 同左 スペース設置及び運営 スペースの運営 iサロン利用登録者数 29人 (平成28年1月現在) 事業内容 事業量等 ミニ・ブルーム交流カフェ等 同左 10回 創業支援セミナー等の開催 同左 10回 創業支援セミナーの開催 4 10回 同左 22回 同左 22回 同左 22回 相談会等の開催 10回 創業支援補助金の支給 2 同左 2件 同左 2件 創業支援補助金創設検討 5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】) ①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

	ハー							
職層•職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	130 H	1人	150 H	1人	110 H	1人	130 H
主事・主任職	1人	15 H	3 人	130 H	2 人	90 H	2 人	105 H

②総事業費

Ī	<del>                                    </del>	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
≠	「未良の内部(中位・  1 ]/ 「市楽典				
	事業費	6,560	19,091	19,091	19,091
	人件費(係長職)	656	747	548	647
	人件費(主任・主事職)	54	1,326	612	714
総	事業費(合計)	7,270	21,164	20,251	20,452
	国庫支出金	4,100	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0
	受益者負担額	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般会計繰入金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	一般財源(人件費含む)	3,170	21,164	20,251	20,452
	源内訳(合計)	7,270	21,164	20,251	20,452

③コスト計算

ア市民56,281人における1人あたりのコストは、イ対象者10人における1人あたりのコストは、ウ成果物の出来高

376	円
2,116,400	円
のコストは	円

※ 対象者: 創業者

Do【実行】 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、	5仏】七畑の紅目	<b>∄</b> \		
○英元紀末(本午及における、4.店勤捐標と、 □計画どおり完了 □計画を見直し完了()		· ·	遅延	中断
①活動実績(Plan【計画】及び事中評価におり	ける改善について本	年度どのような	活動を実	
※計画を見直し完了、遅延、中断となった場で成28年4月、市・商工会・金融機関等による				の認定を受け
<i>t</i> =.				
本計画に基づき、創業支援セミナー、創業窓				
による個別支援、創業支援スペースiサロンの 市内空き店舗情報の提供を行った。	)登録者等への情報	報提供、小期産	美団体と0	ク連携による
創業支援セミナー開催回数:11回/延べ参加	口者数143人 窓口	相談会開催回数	数:20回/	相談件数22件
創業支援コーディネーター相談件数:170件	創業支援スペー	スiサロン登録者	<b>首数:114人</b>	
②投入実績 決算の内訳(単位:円) 予算額(当初)	補正・流用額 ・	予算額(最終)	決算額	項 執行率
事業費 19,091,000	で出土このにかり行気	19,091,000		7,146 99.7%
7.成果結果				•
①活動、投入実績から生じた成果(物) 前年度(今までの状況)	<b></b>	度(どういう状態	1-+:-+	,)
創業支援に関するセミナー(5回)・窓口相談	創業支援事業を行			
会(10回)の実施、創業支援コーディネー	し、創業者が継続			
ター2名の配置、また併せて創業支援スペー	援することができた	<b>t</b>		
スの開設により、創業希望者の掘り起しと個別支援を行った.				
別又抜を11つに				
②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値				
対象者(物)	本年度:目標(	直	本年	度:実績値
		⇒		
		·		
	◎・・・適切であるが	が 会後 トロカ	ᆔᆔᄼ	羊士 Ζ + の
Check【評価】 8.評価	〇・・・適切なもの	か、フ 技、よりみ	大りいし以	音りのもの
①事業評価(改善等、課題を発見する視点)	△・・・課題があり、	、今後、改善が	必要なもの	
項目 評価のポイント		項目の着	眼点	課長評価
妥 ・上位施策(基本目標・施策)を達成する		施策体系に結	びつくか、	
当 ছ ·今の社会情勢に見合う事業内容となっ 性 ·利用者·対象者のニーズ(需要)はある	っているか るか	事業の必要性	はあるか	
効 ○・活動手法を見直し、人件費・事業費の	<u> </u>	成果を落とさす	、最少の	
効 ( ・活動手法を見直し、人件費・事業費の 率 法 性 )		経費・労力で事	露務が執	
性し		行されているた	١	
有 ( ・事業の目標が達成されているか		成果又は効果	が表れて	
有 ( ・事業の目標が達成されているか 効 <sub>果</sub> 性 ( )		いるか		
②事業評価(今後の方向性についての視点)		•		
【今後の方向性】 高〔妥〕 ↑	当性•有効性〕			今後の 方向性
B:事業の進め方の A:計画どおりに	事業を進めること	. 又は.		刀旧江
	改善して進めるこ			
← C:事業規模・内容又は実施主体の		<b>→</b> [ஜ	加率性〕	Δ
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止 	の検討			
			L.	
Action【改善】				

評価から導かれる今後の課題と方向性

# 評価(所管課長)

今後も創業希望者のニーズに合わせたセミナーの企画運営を行うとともに、創業支援コーディネーター

によるきめ細かな個別指導を充実していく。 また、商工会や金融機関等様々な産業支援機関や専門家団体との連携を強化し、創業希望者への具 体的な支援を行っていく。

	[28年度 【基本シート】					
1.基	本項目	作成部署	産業	镁環境 部		産業振興課
	事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
<b>4</b>	経営向上のための助成制度の充実	年				
(	1 中小企業販路開拓支援助成事業	平成 23 年	期間設定5年	自治事務(市 独自) 自治事務(市	直営	
(	2 技術力向上及び人材育成支援助成事業	昭和 16 年	期間設定3年	自治事務(市 独自)	直営	
03		年				
04		年				
(	5	年				

工業

事業番号

4

関連課

2.事業の概要 事 企業の経営向上の取り組みに対して、助成金を支給します。 内

根拠法令

条例 要綱等

3.成果指標

成市内企業の支援果目

標

4.活動指標				
Plan(計画)	平成27年度(現況)		3か年計画	
	一成27千皮(死况)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	中小企業販路開拓支援助成事業 7件 平成27年12月現在	同左 上限10万円、10社 (事業継続の検討)		
	技術力向上及び人材育成 支援助成制度 22件 平成27年12月現在	同左 上限20万円	同左 上限20万円	同左 上限20万円
事業内容 事業量等	地域イノベーション創出助 成事業 1件 平成27年12月現在	同左 上限5万円、10万円、50万円 同左	同左 上限5万円、10万円、50万 円	同左 上限5万円、10万円、50万円
	ICT活用販路開拓助成事業 等 助成16件、専門家派遣7件 平成27年12月現在		同左 上限10万円、15件	上限10万円、15件
	ビジネスハンズオン支援事業 3件 平成27年12月現在	同左 募集企業2件	同左 募集企業2件	同左 募集企業2件

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成27年度(現況)		平月	成28年度	平月	成29年度	平成30年度	
「現代生力」 	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	15 H	1人	15 H	1人	15 H	1人	15 H
主事·主任職	2 人	44 H	2 人	44 H	2 人	44 H	2 人	44 H

②総事業費

<u>(</u>	心				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費	7,000	5,327	4,327	4,327
	人件費(係長職)	76	75	75	75
	人件費(主任・主事職)	317	300	300	300
総	事業費(合計)	7,393	5,702	4,702	4,702
	国庫支出金	4,000	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0
	受益者負担額	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般会計繰入金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	一般財源(人件費含む)	3,393	5,702	4,702	4,702
財	源内訳(合計)	7,393	5,702	4,702	4,702

③コスト計算 ア 市民 56.281 人における1人あたりのコスト	(+ 101)III
ア 市民 56,281 人における1人あたりのコスト イ 対象者 人における1人あたりのコスト	
ウ成果物 の 出来高	のコストは
※ 対象者: 平成28年度 【事後評価】	
Do(実行) 《進行管理》	
6.実施結果(本年度における、4.活動指標と、5.投入指標	
□計画どおり完了 □計画を見直し完了(次年度以降計画とまりはの)	
①活動実績(Plan【計画】及び事中評価における改善につ ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、	
企業が行う経営向上の取り組みに対して助成金を交付し	
ることで、産業の振興を図った。 技術力向上及び人材育成支援助成事業 11社 765,000F	<b>4</b>
中小企業販路開拓支援助成事業 14社 972,000円	
②投入実績	
決算の内訳(単位:円)   予算額(当初)   補正・流用   事業費   5,327,000	額 予算額(最終) 決算額 執行率 0 5,327,000 3,541,000 66.5%
7.成果結果	0,027,000 0,011,000 00.07
①活動、投入実績から生じた成果(物) 前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
	企業の資格取得や研修費用を助成し、技術
の検討を行った。 カの向上や	人材育成を図ることができた。展示会や見本
	展に要する経費を助成し、中小企業の製品や 引知および宣伝して販路開拓や受注を拡大す
	こ。新製品・新技術等の開発にかかる経費の
一部を助成・	することによりイノベーション創出を促進するこ
	Webページの新規作成の費用を助成し、中小発信を支援することができた。
正未の旧報	元后で文族することが、ことに、
②4.活動指標のPlan【計画】において、目標値を数値化して	
対象者(物) 本年度:	:目標値 本年度:実績値
	⇒
Obs. J. P. T. A.	マキスが、会後、トリが用的に改善するもの
Check (評価) ◎・・・適切で 8.評価 ○・・・適切を	であるが、今後、より効果的に改善するもの よもの
①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題が	
項目 評価のポイント 妥 û ・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事	項目の着眼点 課長評価
	****** 施策体系に結びつくか、 事業の必要性はあるか
効 ( ) ·活動手法を見直し、人件費·事業費の削減余地はな	はいか。成果を洛とさず、最少の 経費・労力で事務が執
効 ( ・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はた 率 法 性 )	行されているか
有 ( ・事業の目標が達成されているか 効 <sub>果</sub>	成果又は効果が表れて
効 (	いるか
②事業評価(今後の方向性についての視点)	, <u> </u>
【今後の方向性】 高〔妥当性·有効性〕 ↑	, , , ,
B:事業の進め方の A:計画どおりに事業を進め	
低 改善の検討 より効果的に改善して進め	めることが適当 高
← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	· → 〔効率性〕 <b> </b>
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討 ↓	
低	

# Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性 評価(所管課長)

平成28年度 【基本シート】					
1.基本項目	作成部署	産業	镁環境 部		産業振興課
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
5 企業誘致の促進	平成 16 年	その他	自治事務(市 独自)	施行者への補 助・助成	
01	年				
02	年				
03	年				
04	年				
05	 年				
関連課					

2.事業の概要

事 企業誘致制度の情報発信に努め、さらなる企業誘致・操業支援策を講じます。 業 内 容 根拠法令 条例

18

工業

事業番号

5

要綱等 3.成果指標

成 市内企業の振興と雇用拡大。地域経済の活性化と市民生活の向上 果 目 標

基本目標 3 ふれあいと活力のあふれるまち 施策区分

4 活動指標

4.冶别怕保				
Plan【計画】	平成27年度(現況)		3か年計画	
	十八八十尺(坑儿)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	企業誘致促進制度の調査・ 研究(制度改正) 誘致累計9事業所	同左 誘致累計 11事業所	同左 誘致累計 13事業所	同左 誘致累計 15事業所
	企業誘致活動実施 企業訪問等	同左 企業訪問等	同左 企業訪問等	同左 企業訪問等
事業内容	広報紙、市公式ウェブサイト等による情報発信	同左	同左	同左
事業量等	商工会等との連携強化(定 例会議の実施)	同左	同左	同左
	未利用地等情報管理シス テム構築	未利用地等情報の更新	同左	同左
		近隣自治体との連携による 企業誘致調査・研究	同左	同左

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

_	<u> </u>											
I	職層∙職種別	平成27年度(現況)		平月	成28年度	平月	戓29年度	平成30年度				
			概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間			
ſ	係長職	1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H	1人	30 H			
Ī	主事·主任職	1人	65 H	1人	65 H	1人	65 H	1人	65 H			

②総事業費

事	<u> </u>	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費	2,110	823	4,120	7,120
	人件費(係長職)	152	150	150	150
	人件費(主任・主事職)	234	221	221	221
総	事業費(合計)	2,496	1,194	4,491	7,491
	国庫支出金	0	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0
	受益者負担額	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般会計繰入金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	一般財源(人件費含む)	2,496	1,194	4,491	7,491
財	源内訳(合計)	2,496	1,194	4,491	7,491

	における1人あ			21 円	
	における1人あ	たりのコストは、		円	
	出来高		のコスト	<b>エ</b>	円
※ 対象者: 平成28年度 【事後評価】					
Do【実行】 【進行管理】					
Do(実行) 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、	4 活動指標と	5投入指標の結!	果)		
□計画どおり完了 □計画				遅延	中断
①活動実績(Plan【計画】及び				活動を実	施したか)
※計画を見直し完了、遅延、「					<del>-</del>
平成27年度に構築した未利用 せに対応した。	地情報管理シ	ステムを活用し、「	下内および近隣	での移転等	学希望の問合
また羽村市の立地メリット・企	業支援施策の紹	20介を行うパンフレ	<b>ツトにより</b> 市σ	)産業振興	施策や企業誘
致制度について周知を行い、				エベルバ	心人、正不助
また、青梅市・瑞穂町と青梅へ				こ関する研	T究会を設置
し、既存企業の業態について	アンケート調査を	を行い、調査報告	書をまとめた。		
②投入実績					
決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	1110 10 01 12 110 1	予算額(最終)	決算額	
事業費	823,000	0	823,000	78	3 <mark>1,353</mark> 94.9%
7.成果結果 ①活動、投入実績から生じた.	成里(物)				
前年度(今までのり		今年	度(どういう状態	になったか	N)
新たに奨励企業として1社を指		企業誘致促進パン			-
交付した。		による情報発信を	実施し、1社を新	f規奨励企	業として指定
企業誘致促進パンフレットのインボウェブサイト等による情報		した。			
公式ウェブサイト等による情報た。	双発信を美施し				
/0					
②4.活動指標のPlan【計画】に	おいて、目標値				
対象者(物)		本年度:目標	値	本年月	度:実績値
上 指定事業者数累	<b>≣</b> ∔	11事業所	⇒	11	事業所
旧足爭未召奴未	91	ロザネバ			<b>予</b> 本//
Check【評価】		◎・・・適切である		L <b>III</b>	
8.評価			が、今後、より欬	見果的に改	善するもの
		〇・・・適切なもの			
①事業評価(改善等、課題を多	発見する視点)	〇・・・適切なもの	、今後、改善が」	必要なもの	)
①事業評価(改善等、課題を多 「項目」 評	き見する視点) 価のポイント	○・・・適切なもの △・・・課題があり	、今後、改善が 項目の着	必要なもの 眼点	
①事業評価(改善等、課題を多 「項目」 評	き見する視点) 価のポイント 重策)を達成するね う事業内容となっ	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業か っているか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結	必要なもの 眼点 びつくか、	)
①事業評価(改善等、課題を多項目 妥 ② ・上位施策(基本目標・施 当 要・今の社会情勢に見合う 性 性・利用者・対象者のニー	後見する視点) 価のポイント 通策)を達成するね 事業内容となっ ズ(需要)はある	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業か っているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性	<u>必要なもの</u> 眼点 びつくか、 はあるか	)
①事業評価(改善等、課題を多項目 妥 ② ・上位施策(基本目標・施 当 要・今の社会情勢に見合う 性 性・利用者・対象者のニー	後見する視点) 価のポイント 通策)を達成するね 事業内容となっ ズ(需要)はある	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業か っているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさす	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の	)
①事業評価(改善等、課題を多項目 妥 ② ・上位施策(基本目標・施 当 要・今の社会情勢に見合う 性 性・利用者・対象者のニー	後見する視点) 価のポイント 通策)を達成するね 事業内容となっ ズ(需要)はある	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業か っているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさす 経費・労力で事	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	)
①事業評価(改善等、課題を多項目 妥。・上位施策(基本目標・旅 ・今の社会情勢に見合き ・利用者・対象者のニー 効 ・活動手法を見直し、人	後見する視点) 価のポイント (策)を達成するねる事業内容となっ ズ(需要)はある 件費・事業費の質	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業か っているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさす 経費・労力で事 行されているか	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の 森務が執	)
①事業評価(改善等、課題を多項目 妥。・上位施策(基本目標・旅 ・今の社会情勢に見合き ・利用者・対象者のニー 効 ・活動手法を見直し、人	後見する視点) 価のポイント (策)を達成するねる事業内容となっ ズ(需要)はある 件費・事業費の質	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業か っているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさす 経費・労力で事 行されているか 成果又は効果	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の 森務が執	)
①事業評価(改善等、課題を多項目 妥・上位施策(基本目標・旅・今の社会情勢に見合きを対象者のニークの主要性) ・利用者・対象者のニークの主を見直し、人の変性 ・ 事業の目標が達成される対象とは、 ・ 事業の目標が達成される対象とは、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	発見する視点) 価のポイント (策)を達成するなう事業内容となっズ(需要)はある 件費・事業費の関	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業か っているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさす 経費・労力で事 行されているか	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の 森務が執	)
①事業評価(改善等、課題を多項目 妥。・上位施策(基本目標・施当等・今の社会情勢に見合きを対象者のニー効のでは、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1	発見する視点) 価のポイント (策)を達成するなう事業内容となっズ(需要)はある 件費・事業費の能 れているか	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか 削減余地はないか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさす 経費・労力で事 行されているか 成果又は効果	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の 森務が執	課長評価
①事業評価(改善等、課題を多項目 妥・上位施策(基本目標・旅・今の社会情勢に見合きを対象者のニークの主要性) ・利用者・対象者のニークの主を見直し、人の変性 ・ 事業の目標が達成される対象とは、 ・ 事業の目標が達成される対象とは、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	発見する視点) 価のポイント (策)を達成するなう事業内容となっズ(需要)はある 件費・事業費の能 れているか	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業か っているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさす 経費・労力で事 行されているか 成果又は効果	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の 森務が執	今後の
①事業評価(改善等、課題を登項目 妥・上位施策(基本目標・旅当性・今の社会情勢に見合きを対して、手法)(手法)(手法)(成果) 有効果 ②事業評価(今後の方向性に 「一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、	発見する視点) 価のポイント (策)を達成する う事業内容となっ ズ(需要)はある 件費・事業費の れているか ついての視点) うに、 うに、 ういての視点) うに、 うに、 ういての視点)	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているからか。 削減余地はないか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結事業の必要性 成果を落とさず 行されているが 成果又は効果 いるか	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の 森務が執	課長評価
①事業評価(改善等、課題を多項目  妥・上位施策(基本目標・旅当性) ・今の社会情勢に見合き ・利用者・対象者のニー 効率性 ・ 1 ・	発見する視点) 価のポイント (策)を達成するなう 事業内容となっ ズ(需要)はある 件費・事業費の能 しているか ついての視点) ○ 「高 〔妥当 へ計画どおりに	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか かか 削減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落力です 行されているか 成果又は効果 いるか	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	今後の
①事業評価(改善等、課題を多項目  妥・上位施策(基本目標・旅当性・今の社会情勢に見合きでは、) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	発見する視点) 価のポイント (策)を達成するねる。 う事業内容となって(需要)はある。 件費・事業費の能 れているか ついての視点) へに計画どおりに より効果的には実施主体の見	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているからか。 削減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること 改善して進めること 直しの検討	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結事 を対力であるが 経費・労力いるが でするが は、 とが適当 高	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、最少の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	今後の
①事業評価(改善等、課題を多項目  妥・上位施策(基本目標・旅・今の社会情勢に見合き・利用者・対象者のニー・対象者のニー・対象者のニー・活動手法を見直し、人の事性・・事業の目標が達成される対象を関係の方向性に ②事業評価(今後の方向性】  ②事業評価(今後の方向性に 【今後の方向性】  B:事業の進め方の改善の検討	発見する視点) 価のポイント (策)を達成するねる。 う事業内容となって(需要)はある。 件費・事業費の能 れているか ついての視点) へに計画どおりに より効果的には実施主体の見	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているからか。 削減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること 改善して進めること 直しの検討	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結事 を対力であるが 経費・労力いるが でするが は、 とが適当 高	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	今後の
①事業評価(改善等、課題を多項目  妥・上位施策(基本目標・旅当性・今の社会情勢に見合きでは、) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	発見する視点) 価のポイント (策)を達成するねる。 う事業内容となって(需要)はある。 件費・事業費の能 れているか ついての視点) へに計画どおりに より効果的には実施主体の見	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているからか。 削減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること 改善して進めること 直しの検討	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結事 を対力であるが 経費・労力いるが でするが は、 とが適当 高	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	今後の

# Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性 評価(所管課長)

企業誘致は市内産業の活性化に重要であるため、引き続き実施していく。

より一層の情報発信を行っていくとともに、西多摩地域全体の産業集積強化を視野に入れ、青梅市・瑞 穂町と進めている圏央道青梅インターチェンジ活用による産業研究会で、当該地域の産業ポテンシャルの分析、企業誘致を行うターゲットを想定し推進していく。

	基本シート】											
1.基本項目				部署			集環境 部			産業振興課		
	事業名		開始	1年度	実施	期間	事業種		<b>型営手法</b>	進行管理		
6 製造業の操業環	境支援事業の	実施	平成	26 年	その他		自治事務( 独自)		行者への補 助成			
01				年								
02				年								
03				年								
04				年								
05				年								
関連課								ı				
基本目標 3 ふ	れあいと活力の	つあふれるま	ち 施策	区分	18		工業	특	事業番号	7		
2.事業の概要												
事製造業の操業						か企業	の魅力を	広く発	信していく	ことで、将		
業内の	内での継続	りな企業と	古期を文	抜しよ	9 。							
条例												
要綱等 3.成果指標												
成の業の操業環	境を改善・	維持させ	、将来は	こわた	り継続	的にi	市内で企	業活重	かできる	ようにす		
果る。												
標												
4.活動指標							<u>、                                    </u>	<del></del>				
Plan【計画】	平成27年原	度(現況)	亚目				3か年計i <sup>2</sup> 成29年)		平式	30年度		
	操業環境支援		同左 1件		Χ		75,25千7	又	1 192	00十段		
	のづくり企業立 事業」の創設・道		(継続の検討	討)								
   事業内容	青梅線沿線地域		同左 5回	左 5回			同左 5回			同左 5回		
事業量等	ター協議会・地業活用によるセ											
	会の実施 5回											
	多摩地域魅力											
	講座の実施 1	□										
L	<u> </u> の達成、及で	び活動する	L るために	投入す	 る資源	[ [[::::::::::::::::::::::::::::::::::	モノ・カネ	<b>、】</b> )				
	条執行に要す	<sup>-</sup> る人数と	1人当た	りの年	間業務	時間	]					
職層∙職	種別	平成27年	<u>度(現況)</u> 【算時間	平月   人数	或28年 ┃概算			29年度 既算時		戊30年度 概算時間		
係長職		1 人 以	<u> </u>	1人		<u> </u>	人数 (t) 1 人	<u>双异呀!</u> 50				
主事·主任職		1人	20 H	1人		20 H	1人	20		20 H		
②総事業費	ツル イロ\	I च dan ∕r	<b>安/用</b> 犯\	। जः	+00/=	<b>#</b>	TI 라	00 左 曲	l <del></del>	+00 左 <b>在</b>		
事業費の内訳( 事業費	<u> </u>	平成2/年	<u>度(現況)</u> 5,300	<del>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</del>	<b></b>	· <u>皮</u> 4,300	半0.2	<u>9年度</u>	<del>平</del> 5 550	<u> </u>		
人件費(係長耶	<b>戦</b> )		252			249			49	249		
人件費(主任・			72			68			68	68		
総事業費(合計)			5,624			4,617		8	67	867		
国庫支出金 都支出金			4,000			3,000		5	000	0 500		
受益者負担額			0			0,000			0	0		
その他特定財	·源		0			0			0	0		
一般会計繰入	、金		0			0			0	0		
起債  一般財源(人(	生 書 今 まい		0 1,624			0 1,617		2	0 867	0 367		
財源内訳(合計)	丁貝首仏/	<u> </u>	5,624			4,617			67 67	867		
3コスト計算		•	-,						<del>'</del>			
ア市民	56,281 人		_					82				
イ対象者		における		りのコス	へいは、				円			
ウ 成果物	の	出来高					のコス	ヘトは		円		

ウ 成果物 ※ 対象者:

$\sim \pm$	実 <b>行とこ</b> 【進行管理】	4 江手は七冊 に	これで 七冊の針	<b>=</b> \		
	施結果(本年度における、 ├画どおり完了 □□計画				遅延	一十些
	画とのり元 ] <u>                                    </u>					<u></u> 一川中断  施したか)
	画を見直し完了、遅延、					心したがり
	27年度に創設した「もの					行った。中小
	だけでなく大企業にも対け					13 = 120 1 3
	、企業の経営力強化・人					用し製造業を
	としたマーケティングセミ					
	、「企業の成長スパイラバ	レ形成」をテーマ	'として製造業営業	力・生産力等引	能化のため	の支援を実施
<u>Lt-</u>						
	入実績 の内訳(単位:円)	字答奶(业如)	技工 法田苑	マ質奶/貝奶\	<b>油管</b>	5   卦 仁 <del>5</del>
	の内訳(単位:円) 『業費	予算額(当初) 4,300,000	補正•流用額	予算額(最終) 4,300,000	決算額	額 執行率 <mark>60,000</mark> 12.8%
	*************************************	4,300,000		4,300,000	Ju	12.6/0
	ネース 動、投入実績から生じた	成果(物)				
<u> </u>	前年度(今までの状		今年	度(どういう状態	になったか	N)
Γŧσ.	)づくり企業立地継続支援	援助成金制度」	製造業の操業環			
の運	用を開始し、1社の交付流	央定を行った。	や企業の魅力を原	広く発信していく	ことで、市口	内での継続的
	地域魅力発見隊育成講成		な企業活動を支持	爰した。		
	F修事業を通じて、企業の					
	強化と地域とのつながり					
	域魅力発見隊において多					
	知り共感してもらうため、					
ど刊図つ	作するなど、企業の操業	環境の <b>向</b> 上を				
• •			- + *L	18.4		
(2)4.)	活動指標のPlan【計画】に 対象者(物)	おいて、目標値	■を剱値化している   本年度:目標		*左	度:実績値
	<u> </u>	100	本年)	支: 夫根他		
				$\Rightarrow$		
	x【評価】		○・・・・ 海切でもる	18 4 44 1 1 1 1		
O =₩				が、今後、よりタ	効果的に改	善するもの
8.評	価	W E	〇・・・適切なもの			
①事	価 業評価(改善等、課題をタ			、今後、改善が	必要なもの	)
① <u>事</u> 項目	価 業評価(改善等、課題を勢 	価のポイント	<ul><li>○・・・適切なもの</li><li>△・・・課題があり</li></ul>	、今後、改善が 項目の着	必要なもの	
①事項目 妥 🖟	価 業評価(改善等、課題を発展を発展を発展)	価のポイント 重策)を達成する	<ul><li>○・・・適切なもの</li><li>△・・・課題があり</li><li>為に必要な事業か</li></ul>	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結	必要なもの 眼点 びつくか、	)
①事 項目 妥当	価 業評価(改善等、課題を多 評 ・上位施策(基本目標・施 ・今の社会情勢に見合う	価のポイント 重策)を達成する。 う事業内容となっ	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか	、今後、改善が 項目の着	必要なもの 眼点 びつくか、	)
① 項 妥 当 性 )	価 業評価(改善等、課題を発 評 ・上位施策(基本目標・旅 ・今の社会情勢に見合 ・利用者・対象者のニー	価のポイント 5策)を達成する。 う事業内容となっズ(需要)はある	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか	)
① 項 妥 当 性 )	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅 ・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー ・活動手法を見直し、人	価のポイント 5策)を達成する。 う事業内容となっズ(需要)はある	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか	、今後、改善が項目の着施策体系に結事業の必要性成果を落とさる	必要なもの 眼点 びつくか、 はあるか ば、最少の	課長評価
① 項 妥 当 性 )	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅 ・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー ・活動手法を見直し、人	価のポイント 5策)を達成する。 う事業内容となっズ(需要)はある	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか	、今後、改善が項目の着施策体系に結事業の必要性 成果を落とさる経費・労力で	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執	)
①項妥当性 効率性	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅 ・今の社会情勢に見合 ・利用者・対象者のニー ・活動手法を見直し、人	価のポイント 通策)を達成する。 う事業内容となっズ(需要)はある 件費・事業費の	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさる 経費・労力で 行されている	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執	課長評価
①項妥当性 効率性	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅 ・今の社会情勢に見合 ・利用者・対象者のニー ・活動手法を見直し、人	価のポイント 通策)を達成する。 う事業内容となっズ(需要)はある 件費・事業費の	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさる 経費・労力で 行されている。	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執	課長評価
①項妥当性 効率性	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅 ・今の社会情勢に見合 ・利用者・対象者のニー ・活動手法を見直し、人	価のポイント 通策)を達成する。 う事業内容となっズ(需要)はある 件費・事業費の	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさる 経費・労力で 行されている	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執	課長評価
① 項 妥当性 効率性 有効性事目 (必要性) (手法) (成果)	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅 ・今の社会情勢に見合 ・利用者・対象者のニー ・活動手法を見直し、人	価のポイント 通策)を達成する。 う事業内容となっズ(需要)はある 件費・事業費の れているか	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさる 経費・労力で 行されている。	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執	課長評価
① 項 妥当性 効率性 有効性 ② 事目 <sup>(必要性)</sup> (手法) (成果) 事	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・統 ・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー・活動手法を見直し、人	価のポイント ・一年ででででである。 ・一年でである。 ・一年でである。 ・一年でである。 ・一年でである。 ・一年でも、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成果を落とさる 経費・労力で 行されている。	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執	今後の
① 項 妥当性 効率性 有効性 ② 事目 <sup>(必要性)</sup> (手法) (成果) 事	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・施・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー・活動手法を見直し、人・・事業の目標が達成されます。 業評価(今後の方向性に 後の方向性】	価のポイント 画策)を達成するだ う事業内容となって、(需要)はある 件費・事業費の れているか ついての視点) 高〔妥当	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているかるか 別減余地はないか 当性・有効性〕	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結事業の必要性 成果を落力で 行されているが 成果又は効果	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執	課長評価
①項妥当性 効率性 有効性②【今事目(必要性)(手法)(成果)事務	価業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・施・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー・活動手法を見直し、人・事業の目標が達成されます。 ・事業の目標が達成されます。 ・事業の目標が達成されます。 をある。	価のポイント 画策)を達成するだう事業内容となっズ(需要)はある 件費・事業費の れているか ついての視点) 高〔妥論 A:計画どおりに	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているか るか 削減余地はないか 当性・有効性〕 ニ事業を進めること	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成費・労力で 経費・労力でいるが は、果又は効果 いるか	必要なもの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	今後の
① 項 妥当性 効率性 有効性 ② 事目 <sup>(必要性)</sup> (手法) (成果) 事	価業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー・活動手法を見直し、人・事業の目標が達成されます。 ・事業の目標が達成されます。 ・事業の目標が達成されます。 ・事業のもし、人の方向性によっても、といまでは、これます。	価のポイント ・一次(高等)を達成するだっま業内容となって(需要)はある。 ・では、事業費のはある。 ・でいるか ・でいるか ・でいるか ・でいるか ・でいるが ・でいが ・でいが ・でいるが ・でいが ・でいが ・でいが ・でいが ・でいが ・でいが ・でいが ・でいが ・でいが ・でいが ・でいが ・でいが ・で	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているかるか 割減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること 改善して進めること	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成費・労力でる 経費・労力でも がまます。 では効果 がしているが は、 とが適当	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執 か が表れて	今後の
①項妥当性 効率性 有効性②【今事目(必要性)(手法)(成果)事行	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー・活動手法を見直し、人の ・事業の目標が達成され 業評価(今後の方向性に 後の方向性】 B:事業の進め方の 改善の検討 C:事業規模・内容又	価のポイント ・一次(需要)はある。 ・一次(需要)はある。 ・でででではある。 ・ででででではある。 ・ででででではある。 ・ででででできます。 ・ででででは、これでは、 ・でできまする。 ・でできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・でできまする。 ・でできまする。 ・でできまする。 ・ででできますなできます。 ・ででできまする。 ・でででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまなななる。 ・ででででででできまなる。 ・でででできまなる。 ・ででできなる。 ・でででできなる。 ・ででででででできななる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているかるか 前減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること 改善して進めること 記直しの検討	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成費・労力でる 経費・労力でも がまます。 では効果 がしているが は、 とが適当	必要なもの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	今後の
①項妥当性 効率性 有効性②【今事目(必要性)(手法)(成果)事行	価業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー・活動手法を見直し、人・事業の目標が達成されます。 ・事業の目標が達成されます。 ・事業の目標が達成されます。 ・事業のもし、人の方向性によっても、といまでは、これます。	価のポイント ・一次(需要)はある。 ・一次(需要)はある。 ・でででではある。 ・ででででではある。 ・ででででではある。 ・ででででできます。 ・ででででは、これでは、 ・でできまする。 ・でできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・でできまする。 ・でできまする。 ・でできまする。 ・ででできますなできます。 ・ででできまする。 ・でででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまする。 ・ででできまなななる。 ・ででででででできまなる。 ・でででできまなる。 ・ででできなる。 ・でででできなる。 ・ででででででできななる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているかるか 前減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること 改善して進めること 記直しの検討	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成費・労力でる 経費・労力でも がまます。 では効果 がしているが は、 とが適当	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執 か が表れて	今後の
①項妥当性 効率性 有効性②【今事目(必要性)(手法)(成果)事行	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー・活動手法を見直し、人の ・事業の目標が達成され 業評価(今後の方向性に 後の方向性】 B:事業の進め方の 改善の検討 C:事業規模・内容又	価のポイント ・一次(需要)を達成する。 ・一次(需要)はある。 ・一次(需要)はある。 ・一次(需要)はある。 ・一次(需要)はある。 ・一次(での視点) ・一次(での形) ・一、(での形) ・一、(での形) ・一、(での形) ・一、(での形) ・一、(での形) ・一、(での形) ・一、(で	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているかるか 前減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること 改善して進めること 記直しの検討	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成費・労力でる 経費・労力でも がまます。 では効果 がしているが は、 とが適当	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執 か が表れて	今後の
①項妥当性 効率性 有効性②【今事目(必要性)(手法)(成果)事行	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー・活動手法を見直し、人の ・事業の目標が達成され 業評価(今後の方向性に 後の方向性】 B:事業の進め方の 改善の検討 C:事業規模・内容又	価のポイント ・一次(需要)はある。 ・一次(需要)はある。 ・でででではある。 ・ででででではある。 ・でででではある。 ・ででででは、 ・ででででは、 ・ででででは、 ・でいるか。 ・ででででは、 ・でいるが、 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でできる。 ・でいるが、 ・でできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででででできる。 ・ででできる。 ・でででできる。 ・ででででででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででででででででできる。 ・でででででででででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているかるか 前減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること 改善して進めること 記直しの検討	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成費・労力でる 経費・労力でも がまます。 では効果 がしているが は、 とが適当	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執 か が表れて	今後の
① 項 妥当性 効率性 有効性 ② <b>C</b> Action	価 業評価(改善等、課題を発 ・上位施策(基本目標・旅・今の社会情勢に見合・利用者・対象者のニー・活動手法を見直し、人の ・事業の目標が達成され 業評価(今後の方向性に 後の方向性】 B:事業の進め方の 改善の検討 C:事業規模・内容又	価のポイント ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一 ・一	○・・・適切なもの △・・・課題があり 為に必要な事業かっているかるか 前減余地はないか 当性・有効性〕 事業を進めること 改善して進めること 記直しの検討	、今後、改善が 項目の着 施策体系に結 事業の必要性 成費・労力でる 経費・労力でも がまます。 では効果 がしているが は、 とが適当	必要なもの 限点 びつくか、 はあるか ず、最少の 事務が執 か が表れて	今後の

評価(所管課長)

制度の見直しについて、中小企業だけでなく大企業にも対応できるよう対象要件の拡充に向けた検討 を行っている。大企業は、地域の雇用を支える重要な存在であり、ものづくり産業集積を図る上で非常に重要である。なお、この助成金は、東京都の「都内ものづくり企業立地継続支援事業費補助金」を財 源の一部とするものである。東京都補助要綱では対象事業者を中小企業のみとしているため、拡充す る対象事業者に大企業を入れるよう働きかけていく。

	基本シート】							1 = 1		
1.基本項目				部署			環境			産業振興課
	事業名		開始	ì年度	実施其	明間	事業種		営手法_	進行管理
7 企業活動支援員(	こよる個別訪問	事業の実施	平成	15 年	継続		自治事》 独自)	務(市  業務:  部)	委託(全	
01				年						
02				<del></del> 年						
03				年						
04				<u>·</u> 年						
05				年						
関連課	h.+1.1.T.+.	\_ \_ \		- <del> </del>	10		<del>- **</del>	T #:	<u>**                                   </u>	
	れあいと活力の	かかれるま	ろ 他束	区分	18		工業	— 争:	業番号	2
2.事業の概要 事 企業活動支援	吕に トス級・	かけ はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん はっぱん	ジネファ	ハエン	<i>片</i> 終す	当念は	4年に	トル 企業:	終労たち	短! まま
業	はいららばは	ち竹砂、L	ノヤヘヾ		ン、社会	五砂四	भ स्राप्ट	ナツ、正未	性舌で又	「反しより。
内容										
根拠法令										
条例										
要綱等										
3.成果指標	————————————————————————————————————									
成 市内企業の経  果	呂又抜									
目										
標    4.活動指標										
		-					3か年記	十画		
Plan【計画】	平成27年月	ξ(現況)	平成	28年月	<b>E</b>		成29年		平成	30年度
	個別訪問		同左	) / J		司左	*L-00/4		左	<i>1</i> 4.
	訪問件数499件 平成27年12月到		訪問件数50	101 <del>T</del>	ā	访问件组	数500件	刮	i問件数500	1 <del>T</del>
viv 1 - <del></del> -										
事業内容										
事業量等										
5.投入指標(成果	の達成、及び	び活動する	るために打	投入す	る資源	( <u></u> ヒト・	モノ・カ	」ネ】)		
①人件費 【事務	務執行に要す									
	锺別	平成27年			<b>成28年</b> 原			发29年度 概算時間		成30年度
係長職			算時間	人数	概算品			概算時間	_	概算時間
主事・主任職		1人	315 H 378 H	1人 1人		5 H 78 H	1人	315 H 378 H		315 H 378 H
②総事業費		<u> </u>	370 11	一八	07	0 11	· /\	070 1	<u>., . , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	070 11
事業費の内訳(	単位:千円)	平成27年		平月	成28年原	<b></b>	平月	<b>戈29年度</b>	平月	成30年度
事業費			10 401		16	6,647		16,64		16,647
人件費(係長期			13,421							4 500
			1,588		1	,568		1,56		
人件費(主任・			1,588 1,361		1	1,568 1,285		1,28	5	1,285
総事業費(合計)			1,588 1,361 <b>16,370</b>		1	1,568 1,285 <b>9,500</b>		1,28 <b>19,50</b>	5 <b>0</b>	1,285 <b>19,500</b>
総事業費(合計) 国庫支出金			1,588 1,361 <b>16,370</b> 0		1	1,568 1,285 <b>9,500</b> 0		1,28 <b>19,50</b>	5 <b>0</b>	1,285 <b>19,500</b> 0
総事業費(合計) 国庫支出金 都支出金	主事職)		1,588 1,361 <b>16,370</b>		1	1,568 1,285 <b>9,500</b>		1,28 <b>19,50</b>	5 <b>0</b>	1,285 <b>19,500</b> 0
総事業費(合計) 国庫支出金	主事職)		1,588 1,361 <b>16,370</b> 0		1	1,568 1,285 <b>9,500</b> 0		1,28 <b>19,50</b>	5 <b>0</b> 0	1,285 <b>19,500</b> 0
総事業費(合計) 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入	主事職)		1,588 1,361 <b>16,370</b> 0 0		1	1,568 1,285 <b>9,500</b> 0 0		1,28	5 0 0 0 0 0	1,285 19,500 0 0 0
総事業費(合計) 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債	主事職)		1,588 1,361 16,370 0 0 0 0		1 1 19	1,568 1,285 0, <b>500</b> 0 0 0		1,28	5 0 0 0 0 0 0 0	1,285 19,500 0 0 0 0 0
総事業費(合計) 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作	主事職)		1,588 1,361 16,370 0 0 0 0 0 16,370		1 1 1 9 1 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1,28 19,50	5 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 19,500
総事業費(合計) 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作 財源内訳(合計)	主事職)		1,588 1,361 16,370 0 0 0 0		1 1 1 9 1 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 1	1,568 1,285 0, <b>500</b> 0 0 0		1,28	5 0 0 0 0 0 0 0 0	1,285 19,500 0 0 0 0 0 0 19,500
総事業費(合計) 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作 財源内訳(合計) ③コスト計算	主事職)	ニャース・	1,588 1,361 16,370 0 0 0 0 0 16,370		19 19 19	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1,28 19,50 19,50 19,50	5 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1,285 19,500 0 0 0 0 0 0 19,500
総事業費(合計) 国庫支出金 都支出会 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作 財源内訳(合計) ③コスト計算 ア市民	主事職) [ 源 金 牛費含む) 56,281 人		1,588 1,361 16,370 0 0 0 0 16,370 16,370	J032	19 19 19 19 19	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		1,28 19,50 19,50 19,50	5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1,285 19,500 0 0 0 0 0 0 19,500
総事業費(合計) 国庫支出金 都支出金 受益者負担額 その他特定財 一般会計繰入 起債 一般財源(人作 財源内訳(合計) ③コスト計算	主事職) [ 源 金 牛費含む) 	における <sup>・</sup> における 出来高	1,588 1,361 16,370 0 0 0 0 16,370 16,370	J032	19 19 19 19 19	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0-	1,28 19,50 19,50 19,50	5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1,285 19,500 0 0 0 0 0

ワ 成果物 L ※ 対象者:

Do【実行】 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、 レ計画どおり完了 計画 ①活動実績(Plan【計画】及び ※計画を見直し完了、遅延、「	を見直し完了(2 事中評価におけ	欠年度以降計画を ける改善についてス	見直す k年度と	どのよ <u>うな</u>	活動を実	 中断 施したか	
企業活動支援員が市内の企業 ジネスマッチングのコーディネ 羽村市商工会に委託して、中 ジネスマッチング、経営診断等 平成28年度から、創業支援コ た。 平成28年度訪問回数1,326件	業・事業所を個別 ・一ト、専門機関 小企業診断士等の企業経営支 ーディネーター	別に訪問し、経営を けや専門家による支 等の資格を保有す 接を実施した。 についても企業活	相談や 援を行る企業 動支援 動支援	各種アドルテった。 活動支援	バイスを行	経営相詞	炎、ビ
②投入実績	マ 佐 佐 (ハノ ナn)	经工 法四岁	マケヤ	(日 (4)	法会员	л I±	4 42 <del>55</del>
決算の内訳(単位:円) 事業費	予算額(当初) 16,647,000	補正・流用額 0	<u>予算額</u>	(取終) 6,647,000	<b>決算</b> 額	俱 ·6,239	<u>執行率</u> 100.0%
[ <del>  更</del>	10,047,000	U	10	0,047,000	10,04	0,239	100.0%
①活動、投入実績から生じた	成果(物)						
前年度(今までのり					になったか	•	
今年度においても、2件の新規訪問を実現した。た。 これまでの企業訪問によって聞き取った課題を解決するための施策として、地方創生交付金の活用等を支援する「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」など新しい補助金制度等を創設した。このことにより個別課題の対応を図ることができた。							
②4.活動指標のPlan【計画】に 対象者(物)	おいて、目標値	<u>を数値化している</u> ┃ 本年度:目標		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	太在!	变∶実績	値
企業訪問件数		500		⇒ →		<del>文· 文·</del> 順 676	
Check (評価)         8.評価         ①事業評価(改善等、課題を多	発見する視点)	◎・・・適切である ○・・・適切なもの △・・・課題があり					<b>もの</b>
	価のポイント		項目の着眼点			課長	<u>評価</u>
妥 û ・上位施策(基本目標・施 当 要 ・今の社会情勢に見合 性 ・利用者・対象者のニー	う事業内容となっ ズ(需要)はある	っているか るか	→ ル東1	本系に結びの必要性	はあるか		
効 ( ・活動手法を見直し、人 作率 法 性 )		削減余地はないか	経費·	を落とさす 労力で事 いているか	務が執		
有 <sup>(</sup> ・事業の目標が達成され 効 <sup>果</sup> 性 <sup>(</sup>			- 成果ン - いるか	又は効果	が表れて		
②事業評価(今後の方向性に							
【今後の方向性】	高〔妥釒	当性•有効性〕				今後	
B:事業の進め方の 低 改善の検討 ← C:事業規模・内容又 D:事業の抜本的見値	より効果的に は実施主体の見			当高	加率性〕	方向	
Action【改善】	l.⊡v						

評価から導かれる今後の課題と方向性

評価(所管課長)

企業活動支援員は、市内中小企業を支援する羽村市独自の事業であり有効であることから、今後も引き続き実施していく。

平成28年度	【母本ソート】		/ <u>/</u>	<del>- 40 m</del>	ı	للد جار-	4.700 I ÷ ÷n			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
1.基本項目	<del>+</del> * 5			部署			葉環境 部	1 1 1 1 2		産業振興課
	事業名		開始	1年度	実施	期间	事業種別	」 建	営手法_	進行管理
8 中小企業振興	資金融資制度等の	カ充実		年			<b>点</b> :// <b>事 %</b> / <b>=</b>	_		
01 中小企業扱	<b>長興資金融資制度</b>	: 	昭和	56 年	継続		自治事務(市 独自) 自治事務(市			
	<b>È業事業資金融資</b>			20 年	継続		自治事務(市  独自)	直営		
03 別成制度	する指定融資商	品に係る利	子 平成	18 年	継続		独自) 自治事務(市 独自)	直営		
04				年			340-0	<u> </u>		
05				年				-†		
関連課					<u> </u>		<u> </u>			
基本目標 3	ふれあいと活力の	かふれるま	き 施策	区分	18		工業	事	業番号	3
2.事業の概要					<u> </u>					
業 内 容 根拠法令	勢の変化に応	じ、資金層	融資制度( 	の充実	を図り	<b>ルます。</b>				
条例 要綱等										
3.成果指標										
成 市内企業の 果 目 標	支援									
4.活動指標										
Plan【計画】	平成27年度	度(現況)	ᄑᆑ	28年月	<b>在</b>		3か年計画 <sup>2</sup> 成29年度		亚战	30年度
	中小企業振興資 度 250件 平 現在(うち新規5	成27年12月	同左	<u>(20-+ 1</u>	<u> </u>	同左	- 10,25 千	. 同		00千及
事業内容 事業量等	小口零細企業 資制度 105件 12月現在(うち新	平成27年	同左			同左		同	左	
<b>并不至</b> 切	創業者に対する 商品に係る利子 0件 平成27年1 (うち新規0件)	-助成制度	同左			同左		同	左	
5.投入指標(成 ①人件費 【事	果の達成、及び 務執行に要す		_			_	]			
職層∙耳			度(現況)		<b></b>		平成29			戊30年度 
			<u> </u>	人数		時間		算時間	人数	概算時間
係長職 主事・主任職		1人2人	19 H 192 H		1	19 H	1人2人	19 H		19 H 192 H
②総事業費		2 人	192 П	2人		92 N	2 人	192 1		192 П
事業費の内訳	(単位·千円)	平成27年	度(現況)	平日	<b></b>	度	平成29	年度	平日	
事業費			15,000			15,000		15,000	D	15,000
人件費(係長			96			95		95	_	95
人件費(主任			1,382			1,306		1,306		1,306
総事業費(合計 国庫支出金			<b>16,478</b> 0		1	1 <b>6,401</b> 0		16,401		<b>16,401</b> 0
都支出金			0			0		(		0
受益者負担	額		0			0		(		0
その他特定			0			0		(		0
一般会計繰 起債	人金		0			0		(	_	0
	人件費含む)		16,478		1	16,401		16,401		16,401
財源内訳(合計			16,478			6,401		16,401		16,401
③コスト計算			•				·			•
ア市民	56,281 人		-					291 円		
イ対象者		における		Jのコス	ストは、			F	1	<del></del>
ウ 成果物 L ※ 対象者:		出来高					のコス	トは		

<b>Do【実行】</b> 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、 <mark>レ</mark> 計画どおり完了 □ 計画。 ①活動実績(Plan【計画】及び	を見直し完了(ジ	次年度以降計画を	・見直す)	□□遅延 -うな活動を実	中断
※計画を見直し完了、遅延、「市内企業に対して、資金融資することができた。	中断となった場合	合は、理由、内容	などを記入す	ること。	
平成28年度申込み件数/融 中小企業事業資金融資件数 小口零細企業事業資金融資 利子補給額9,651,723円 ②投入実績	32件/222,240,				
<u>❷叔八美祖</u> 決算の内訳(単位:円)	▽佐紹(単加)		文符奶/旦奶	7) 计符:	据   #1 /二·家
	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終		
事業費	15,000,000	0	15,000,	000 13,6	5 <mark>4,305</mark> 91.0%
7.成果結果 ①活動、投入実績から生じた				13 43 kg ,	
前年度(今までのり				犬態になったが	
資金融資制度を活用して、市 を行った。				内企業の支援	きを行った。
②4.活動指標のPlan【計画】に	おいて、目標値				
対象者(物)		本年度:目標	値	本年	度:実績値
			⇒	•	
Check【評価】 8.評価 ①事業評価(改善等、課題を多	発見する視占)	<ul><li>◎・・・適切である</li><li>○・・・適切なもの</li><li>△・・・課題があり</li></ul>	1		
	<u>のポイント</u>	<u> </u>		D着眼点	課長評価
妥 û ·上位施策(基本目標·施 当 要 ·今の社会情勢に見合う 性 ・利用者·対象者のニー	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	っているか	施策体系に	に結びつくか、 要性はあるか	
効 ( ・活動手法を見直し、人 作率 法 性 )	件費・事業費の	削減余地はないか		で事務が執	0
有 <sup>(</sup> ・事業の目標が達成され 効 <sub>果</sub> 性 <sup>(</sup>			─成果又は対 ─いるか	効果が表れて	0
②事業評価(今後の方向性に	ついての視点)				
【今後の方向性】	高〔妥勤 ↑	当性•有効性〕			今後の 方向性
B:事業の進め方の 低 改善の検討 ← C:事業規模・内容又 D:事業の抜本的見直	より効果的に は実施主体の見			高 ▶〔効率性〕	Α
Action【改善】 評価から導かれる今後の課題 評価(所管課長)	<b>夏と方向性</b>				

平成29年度から融資制度を拡充したが、引き続き、市内企業を支援するため、企業ニーズに即して資金融資制度の充実を図っていく。

【基本シート】 平成28年度 作成部署 産業振興課 1.基本項目 産業環境 部 事業名 実施期間|事業種別| 運営手法 進行管理 開始年度 自治事務(市 9 雇用の促進 不明 年 継続 その他 独自) 年 01 年 02 年 03 年 04 05 年

2.事業の概要

関連課 企画政策課・子育て支援課 基本目標 3 ふれあいと活力のあふれるまち

事 ハローワークや東京都等関係機関と連携し、就職支援セミナーや面接会を開催する等の雇用対策 業 を進めます。また、企業誘致等により、雇用機会の創出を図ります。 容

18

工業

事業番号

6

施策区分

根拠法令 条例 要綱等

3.成果指標

成雇用機会の創出

果目 標

4.活動指標								
Diss [#Limi]	平成27年度(現況)	3か年計画						
Plan【計画】	十成2/十段(况沉)	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
		同左 (合同面接会等) 6回	同左 (合同面接会等) 6回	同左 (合同面接会等) 6回				
	セミナー等の開催 (対象:一般、中高年、若 年、女性、ひとり親等) 4回	同左 4回	同左 4回	同左 4回 				
事業内容 事業量等	再就職支援セミナーの開催 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回				
<b>丁木里寸</b>	出張ハローワークの開催 22回	同左 23回	同左 24回	同左 24回				
	企業誘致の促進 誘致累計9事業所	同左 誘致累計11事業所	同左 誘致累計13事業所	同左 誘致累計15事業所				
	ミニ・ブルーム交流カフェ等 創業支援セミナー・相談会 等の開催 13回	創業支援セミナー等の開催 32回	同左 32回	同左 32回				

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層∙職種別	平成27年度(現況)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	45 H	1人	45 H	1人	45 H	1人	45 H
主事·主任職	1人	70 H	1人	70 H	1人	70 H	1人	70 H

**②**終重業費

<u> </u>	心于木貝				
事	業費の内訳(単位:千円)	平成27年度(現況)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	事業費	5,740	1,671	4,976	7,976
	人件費(係長職)	227	224	224	224
	人件費(主任・主事職)	252	238	238	238
総	事業費(合計)	6,219	2,133	5,438	8,438
	国庫支出金	0	0	0	0
	都支出金	0	0	0	0
	受益者負担額	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般会計繰入金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	一般財源(人件費含む)	6,219	2,133	5,438	8,438
財	源内訳(合計)	6,219	2,133	5,438	8,438

イ 対象者人	における1人あたりのコストに における1人あたりのコストに 出来高		8 H   H   T				
<b>Do【実行】</b> 【進行管理】 6.実施結果(本年度における、	を見直し完了(次年度以降計事中評価における改善につし中断となった場合は、理由、「時関係機関と連携し、出張ハ「兵実施した。 「一協議会で開催している合同	画を見直す) □近 いて本年度どのようなだ 内容などを記入すること ローワークの開催、就理 同企業説明会は、景気	と。 職支援セミナーや面接 回復基調による学生の				
②投入実績		五】 マ質奶(早级)	为 <b>答</b>				
決算の内訳(単位:円) 事業費	予算額(当初)  補正·流用客   1,671,000	預 予算額(最終) 1,671,000	決算額     執行率       1,672,189     97.4%				
7.成果結果		.,071,000	.,,				
①活動、投入実績から生じた 前年度(今までのも		今年度(どういう状態に	-t:~t-t)				
求職者(個人)および求人企業(企業)を対象として、近隣自治体・商工会、ハローワーク青梅や東京都等関係機関と連携して、出張り青梅・東京しごとセンター多摩との連携を強化し、就職支援セミナーや面接会・説明会を開催する等の雇用対策を推進した。							
②4.活動指標のPlan【計画】に							
対象者(物)	本年度:	日標値	本年度:実績値				
セミナー・面接会等の開催	(共催含む) 11	⇒	11				
Check (評価)       ◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの         8.評価       ○・・・適切なもの         ①事業評価(改善等、課題を発見する視点)       △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの							
	価のポイント	項目の着眼	えん 課長評価				
当 要・今の社会情勢に見合性 ・利用者・対象者のニー	植策)を達成する為に必要な事 う事業内容となっているか −ズ(需要)はあるか	寒か 施策体系に結び 事業の必要性は					
率法性。	件費・事業費の削減余地はな	いか 成果を落とさず、 経費・労力で事績 行されているか					
有 ( ・事業の目標が達成され 効果 性 )		──成果又は効果か ──いるか	(表れて				
②事業評価(今後の方向性に 【今後の方向性】	<u>:ついての視点)</u> 高 〔妥当性·有効性〕		今後の				
	高 【女ヨ性・有効性】 ↑   A:計画どおりに事業を進める	<u> </u>	方向性				
B:事業の進め方の 低 <u>改善の検討</u> ← C:事業規模・内容又	より効果的に改善して進め		- 111 S				

# Action【改善】

評価から導かれる今後の課題と方向性 評価(所管課長)

経済状況の変化とともに雇用就業状況も変化している。このため、今後もハローワークや東京都等の関 係機関と連携するとともに、求職支援を行う大学や求人支援を行う産業支援機関との連携を強化し、雇用の維持、就業機会の提供、企業の人材確保を積極的に支援していく。